



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東  
 コード番号 2820 URL https://www.yamami.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 清  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 辰男 (TEL) 0848(86)3788  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月24日 配当支払開始予定日 2020年9月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期の業績(2019年7月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	12,644	16.2	362	△61.5	409	△58.0	814	19.0
2019年6月期	10,881	3.6	941	△4.2	976	△2.0	684	5.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	117.36	117.08	12.5	2.9	2.9
2019年6月期	100.44	100.23	12.7	8.8	8.7

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 — 百万円 2019年6月期 — 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	15,013	6,868	45.6	986.69
2019年6月期	12,805	6,199	48.2	890.50

(参考) 自己資本 2020年6月期 6,848百万円 2019年6月期 6,176百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	1,374	△2,623	1,208	204
2019年6月期	1,674	△4,748	2,765	244

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	14.00	—	10.00	24.00	166	23.9	3.0
2020年6月期	—	12.00	—	12.00	24.00	166	20.4	2.6
2021年6月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00		51.1	

### 3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,410	6.2	409	81.8	428	83.9	278	71.7	40.16
通期	13,020	3.0	461	27.2	501	22.3	325	△60.0	46.96

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	6,941,500株	2019年6月期	6,936,100株
② 期末自己株式数	2020年6月期	205株	2019年6月期	205株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	6,938,582株	2019年6月期	6,814,729株

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移したことにより、雇用情勢や所得環境の緩やかな改善傾向が続き、景気は概ね堅調に推移したものの、消費増税や自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい状況に転じております。また、海外情勢は米国と中国の政治動向や金融資本市場の情勢にリスク懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が属します食品製造業におきましては、消費者の食品への安心・安全への意識の高まりを背景とした人材獲得競争の激化による人件費の上昇や、人手不足を背景とした物流費の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内食需要が高まるとともに先行き不安から節約志向も高まり、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社は一般消費向け各種豆腐、厚揚げ等を主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、販売に注力いたしました。また、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進いたしました。

設備面では、富士山麓工場の厚揚げラインの新設が2019年12月に、富士山麓工場の木綿ラインの新設が2020年3月に、富士山麓工場の絹豆腐ライン、充填豆腐ラインの新設が2020年4月に完了し、関東地方への製造、出荷を開始したことにより、製品供給体制の拡充を図りました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高12,644百万円と前年同期と比べ1,763百万円(16.2%)の増収となりました。

利益につきましては、運送コストの上昇による荷造運賃の増加、富士山麓工場の稼働による減価償却費の増加、富士山麓工場の人件費や光熱費といった固定費負担等の影響もあり、営業利益は362百万円と前年同期と比べ579百万円(61.5%)の減益、経常利益は409百万円と前年同期と比べ566百万円(58.0%)の減益、当期純利益は富士山麓工場新設に係る補助金収入により、814百万円と前年同期と比べ129百万円(19.0%)の増益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末と比較して2,208百万円増加し、15,013百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して468百万円増加し、2,464百万円となりました。これは主に未収消費税等を359百万円計上したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して1,740百万円増加し、12,549百万円となりました。これは富士山麓工場の稼働に伴い、建物が1,408百万円増加したこと、並びに機械及び装置が2,393百万円増加したこと等によるものです。

#### (負債の部)

当事業年度末における総負債は、前事業年度末と比較して1,540百万円増加し、8,145百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して1,406百万円増加し、4,138百万円となりました。これは主に短期借入金が1,100百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して133百万円増加し、4,007百万円となりました。これは主に長期借入金が123百万円増加したこと等によるものです。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比較して668百万円増加し、6,868百万円となりました。これは主に当期純利益814百万円により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して39百万円減少し、204百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,374百万円（前事業年度は1,674百万円の収入）となりました。

これは、収入要因として税引前当期純利益1,204百万円、減価償却費1,463百万円等があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、2,623百万円（前事業年度は4,748百万円の支出）となりました。

これは、富士山麓工場の新設、本社工場バラエティラインの更新、及び関西工場6B豆腐ラインの新設に伴う、有形固定資産の取得による支出3,411百万円等があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、1,208百万円（前事業年度は2,765百万円の収入）となりました。

これは、配当金の支払額による支出152百万円があった一方で、長期借入れによる収入1,000百万円等があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率 (%)	41.1	47.0	48.9	48.2	45.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	108.4	140.0	152.2	140.6	108.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.9	2.3	1.9	2.8	4.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	60.7	46.6	53.5	68.5	54.4

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注 1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注 2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大による日配品に対する影響は限定的であると考えられることから、伝統食材である豆腐の販売は安定して推移していくものと見込まれます。

このような状況下におきまして当社は、設備投資による製造原価の低減と品質向上を継続的に図り、一般消費向け各種豆腐・厚揚げ等を安定的に供給していくとともに、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進していくこと等により、安定的な企業成長を目指す所存であります。また、国内最大規模の市場である関東地域への進出のために新設した富士山麓工場を中心に、積極的な営業展開を図り、販路拡大に努める所存であります。

以上に基づき次期の業績につきましては、売上高13,020百万円（前事業年度比3.0%増）、営業利益461百万円（同27.2%増）、経常利益501百万円（同22.3%増）、当期純利益325百万円（同60.0%減）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	299,295	259,408
売掛金	1,442,671	1,503,024
商品及び製品	39,253	50,549
原材料及び貯蔵品	198,157	282,739
未収消費税等	—	359,668
その他	17,329	9,492
流動資産合計	1,996,706	2,464,882
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,549,301	5,146,474
減価償却累計額	△1,317,835	△1,506,613
建物(純額)	2,231,466	3,639,860
構築物	697,576	758,477
減価償却累計額	△371,138	△405,083
構築物(純額)	326,437	353,393
機械及び装置	9,760,609	13,374,866
減価償却累計額	△5,836,721	△7,057,698
機械及び装置(純額)	3,923,888	6,317,167
車両運搬具	25,547	38,467
減価償却累計額	△22,921	△29,478
車両運搬具(純額)	2,625	8,988
工具、器具及び備品	71,135	91,571
減価償却累計額	△57,588	△65,623
工具、器具及び備品(純額)	13,547	25,947
土地	2,115,391	2,126,946
リース資産	67,199	67,199
減価償却累計額	△63,288	△65,374
リース資産(純額)	3,911	1,825
建設仮勘定	2,119,921	583
有形固定資産合計	10,737,189	12,474,713
無形固定資産		
ソフトウェア	5,570	13,418
その他	619	619
無形固定資産合計	6,190	14,038
投資その他の資産		
投資有価証券	7,887	9,288
出資金	60	10
長期前払費用	6,147	9,726
その他	51,148	41,338
投資その他の資産合計	65,244	60,363
固定資産合計	10,808,624	12,549,115
資産合計	12,805,331	15,013,997

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	629,520	910,737
短期借入金	300,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	692,661	824,040
リース債務	2,106	1,415
未払金	690,165	521,156
未払費用	198,705	165,448
未払法人税等	148,091	270,999
未払消費税等	20,303	—
預り金	40,343	32,931
賞与引当金	8,540	10,553
その他	842	729
流動負債合計	2,731,280	4,138,011
固定負債		
長期借入金	3,758,213	3,881,235
リース債務	2,107	692
預り保証金	4,000	4,000
繰延税金負債	109,849	121,581
固定負債合計	3,874,169	4,007,508
負債合計	6,605,450	8,145,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,556	1,220,690
資本剰余金		
資本準備金	1,188,556	1,193,690
資本剰余金合計	1,188,556	1,193,690
利益剰余金		
利益準備金	7,569	7,569
その他利益剰余金		
圧縮積立金	290,615	279,027
繰越利益剰余金	3,474,927	4,148,211
利益剰余金合計	3,773,112	4,434,809
自己株式	△443	△443
株主資本合計	6,176,782	6,848,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△341	170
評価・換算差額等合計	△341	170
新株予約権	23,440	19,560
純資産合計	6,199,881	6,868,478
負債純資産合計	12,805,331	15,013,997

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,881,749	12,644,927
売上原価		
製品期首たな卸高	36,137	39,253
当期製品製造原価	7,930,952	9,749,855
合計	7,967,089	9,789,108
製品期末たな卸高	39,253	50,549
製品売上原価	7,927,836	9,738,559
売上総利益	2,953,913	2,906,368
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	937,121	1,258,158
広告宣伝費	14,209	28,219
販売手数料	701,947	848,274
給料及び賞与	168,945	190,706
賞与引当金繰入額	1,110	1,218
減価償却費	5,061	4,895
その他	183,567	212,118
販売費及び一般管理費合計	2,011,961	2,543,591
営業利益	941,951	362,776
営業外収益		
受取利息	19	6
受取配当金	94	101
助成金収入	41,999	42,190
自動販売機収入	4,744	4,847
スクラップ売却収入	3,085	1,866
受取補償金	—	17,905
保険解約返戻金	—	6,331
保険金収入	19,726	—
その他	5,144	4,186
営業外収益合計	74,815	77,435
営業外費用		
支払利息	24,443	25,255
株式交付費	8,984	—
その他	6,572	5,054
営業外費用合計	40,000	30,310
経常利益	976,766	409,901
特別利益		
補助金収入	—	790,347
新株予約権戻入益	—	4,006
特別利益合計	—	794,353
特別損失		
固定資産除却損	4,885	—
特別損失合計	4,885	—
税引前当期純利益	971,881	1,204,254
法人税、住民税及び事業税	293,865	378,432
法人税等調整額	△6,423	11,507
法人税等合計	287,442	389,940
当期純利益	684,438	814,314



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	696,086	669,086	669,086	7,569	302,656	2,939,310	3,249,536
当期変動額							
新株の発行	519,470	519,470	519,470				
新株予約権の行使							
剰余金の配当						△160,862	△160,862
当期純利益						684,438	684,438
圧縮積立金の取崩					△12,040	12,040	—
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	519,470	519,470	519,470	—	△12,040	535,616	523,576
当期末残高	1,215,556	1,188,556	1,188,556	7,569	290,615	3,474,927	3,773,112

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△205	4,614,503	1,198	1,198	16,048	4,631,750
当期変動額						
新株の発行		1,038,940				1,038,940
新株予約権の行使						—
剰余金の配当		△160,862				△160,862
当期純利益		684,438				684,438
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△237	△237				△237
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△1,539	△1,539	7,392	5,852
当期変動額合計	△237	1,562,278	△1,539	△1,539	7,392	1,568,130
当期末残高	△443	6,176,782	△341	△341	23,440	6,199,881

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	圧縮積立金	
当期首残高	1,215,556	1,188,556	1,188,556	7,569	290,615	3,474,927	3,773,112
当期変動額							
新株の発行							
新株予約権の行使	5,134	5,134	5,134				
剰余金の配当						△152,618	△152,618
当期純利益						814,314	814,314
圧縮積立金の取崩					△11,588	11,588	—
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	5,134	5,134	5,134	—	△11,588	673,284	661,696
当期末残高	1,220,690	1,193,690	1,193,690	7,569	279,027	4,148,211	4,434,809

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△443	6,176,782	△341	△341	23,440	6,199,881
当期変動額						
新株の発行						—
新株予約権の行使		10,269				10,269
剰余金の配当		△152,618				△152,618
当期純利益		814,314				814,314
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			511	511	△3,880	△3,369
当期変動額合計	—	671,965	511	511	△3,880	668,596
当期末残高	△443	6,848,747	170	170	19,560	6,868,478

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	971,881	1,204,254
減価償却費	1,113,365	1,463,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	△198	2,013
受取利息及び受取配当金	△114	△107
保険金収入	△19,726	—
支払利息	24,443	25,255
株式交付費	8,984	—
補助金収入	—	△790,347
新株予約権戻入益	—	△4,006
固定資産除却損	4,885	—
売上債権の増減額(△は増加)	△44,511	△60,352
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,610	△95,877
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,704	281,217
未払金の増減額(△は減少)	△4,421	44,991
未払又は未収消費税等の増減額	372	△379,972
その他	51,221	△16,840
小計	2,030,869	1,673,725
利息及び配当金の受取額	114	107
利息の支払額	△24,879	△25,309
保険金の受取額	19,726	—
法人税等の支払額	△350,979	△273,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,674,850	1,374,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,015	△4
定期預金の払戻による収入	51,030	—
有形固定資産の取得による支出	△4,788,457	△3,411,903
無形固定資産の取得による支出	△1,803	△10,966
投資有価証券の取得による支出	△658	△664
補助金の受取額	—	790,347
その他	△4,301	10,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,748,206	△2,623,189
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	1,100,000
長期借入れによる収入	2,300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△693,334	△745,599
自己株式の取得による支出	△237	—
株式の発行による収入	1,038,940	—
株式交付費の支出	△8,984	—
リース債務の返済による支出	△10,040	△2,106
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	9,072
配当金の支払額	△160,602	△152,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,765,740	1,208,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△307,616	△39,891
現金及び現金同等物の期首残高	551,848	244,232
現金及び現金同等物の期末残高	244,232	204,340

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社では、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当事業年度の業績への影響は現時点では大きな影響も出ておらず、将来においても影響は限定的であると仮定して会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多いため、引き続き今後の動向を注視してまいります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、豆腐等製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	890.50円	986.69円
1株当たり当期純利益金額	100.44円	117.36円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	100.23円	117.08円

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	684,438	814,314
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	684,438	814,314
普通株式の期中平均株式数(株)	6,814,729	6,938,582
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	13,937	16,386
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。